

新島 襄の言葉

本井 康博（大学嘱託講師）

真理之囚人こそ真ニ自由ノ人ナレ

「真理之囚人」と題された説教草稿に見られる新島襄のメッセージである（『新島襄全集』II、四五―五頁）。「真理トハ何ゾ、乃天ノ道也」と自身、喝破するように（同前I、三九五頁）、新島にとつて「真理」はキリスト教そのものであった。

それゆえ「真理之囚人」とは、新島が理想とする「基督ノ一忠僕」を指す（同前IV、三〇二頁）。同時に彼は「自由之忠僕」を名乗る（同前IV、三〇五頁）。

真理とキリスト教と自由——その間の消息は、明德館の正面の壁にある“VERITAS LIBERABIT VOS”（真理はあなたたちを自由にする）との聖句（ヨハネによる福音書、第八章三二節）が示唆に富む。

彼は別の説教草稿では「耶蘇世ニ降り自由顕ル、耶蘇教ナキ国ハ自由ナシ」と断言する（『新島襄全集』II、三八九頁）。「耶蘇教ナキ学校ハ自由ナシ」でもあったはずである。

新島こそ「自由ノ人」に憧れた「真理之囚人」であった。

「自由ノ人」を産むために同志社は「真理之囚人」によつて創建された。

新島襄の言葉